



### 第6回市民まちづくりワークショップを開催しました！

➤ 第6回市民まちづくりワークショップを平成28年6月24日（金）に、南部コミュニティーセンターにて開催致しました。今回は、第4、5回のワークショップで議論した内容や市の各部局が検討した内容を踏まえて事務局が作成した「今後の分野別取組み（案）」に基づいて、主に「市民ができること・地域ができること」を、3グループに分かれて議論頂きました。

#### — 当日のスケジュール —

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 14:00～ | 開会<br>本日のワークショップの進め方       |
| 14:15～ | 議論のポイント                    |
| 14:25～ | ワークショップ<br>「市民・地域・行政の役割分担」 |
| 16:20～ | 講評                         |
| 16:30  | 閉会                         |

### ～ワークショップでの議論のポイントについて小島先生からアドバイス～

前回、前々回と皆さんに検討頂いた「100の提言」をもとに「今後の分野別取組み（案）」を作成しており、これが総合計画のたたき台となります。今回は、皆さんに検討頂いた提言がどのように計画に活かされているか確認するとともに、行政の各分野の担当の方にも出席してもらっているため、相互に意見交換を行いながら市民と地域、行政の役割分担について議論頂きたいと考えています。また、事務局案の文章では「市民が〇〇に努める」というように文章が硬いため、市民や地域ができることについては、積極的に「私たち市民が〇〇します！」と市民の目線に立った表現に改めてもよいのではないかと思います。ぜひ総合計画にみなさんの考えを残して頂ければと思います。



### ～「市民ができること・地域ができること」について、意見交換を行いました～

#### 【Aグループで出された意見の概要】

##### <産業、観光、交流分野>

##### ①新名神高速道路の整備を推進する

・新名神の整備を契機に何をやっていくのか、新名神をどう活用するのかについて検討することが重要なのではないか。

##### ②東部丘陵地の土地利用を推進する

・東部丘陵地の土地利用については、現在行政にて都市計画等のゾーニングを検討中であり、市民や地域としては東部丘陵地のまちづくりにどのように係っていくべきなのか検討する必要がある。

##### ④交通ネットワークの充実を推進する

・鉄道やさんさんバスなどの公共交通の維持・利用促進の観点から、「市民は鉄道駅を積極的に利用する」ことや、「市民がバスの時刻に合わせた生活活動をする」ことが重要ではないか。

##### <行政経営分野>

##### ⑤持続可能な財政運営を実現する

・「財政状況が厳しい」とよく言われるが比較の対象がないのでイメージが湧かない。厳しい状況を市民に理解してもらう方法を考える必要がある。

##### ⑥戦略的に行政経営を推進する

・行政の財源には限りがあるため、市民が持続可能な行政運営を理解する（平準かつ公平な資本投下による行政経営を理解する）ことが必要である。

#### 【Bグループで出された意見の概要】

##### <福祉、健康、医療、消防、防災・防犯分野>

##### ①消防・救急体制の充実したまちをつくる

・市はAEDの講習会の周知を行い、市民は積極的に参加することが必要である。

##### ③地域の福祉を推進し、市民の自立を支援する

・自助・共助を促す内容となっているが、表現上は社会全体の課題を地域に封じ込める印象を受ける。自助→共助→公助の順で取り組むとともに、地域からの積極的な情報発信を促すことも必要である。

#### ④障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる

- ・聴覚障がいに対する表現が目立つが、京都府下で初めて手話言語条例を制定したことを意識してそのような表現となっている。各障がいのバランスに配慮した表現に改めることとする。

#### ⑤子育てしやすい環境づくりを推進する

- ・保育制度の充実が必要ではあるが、乳児・病児保育等の充実は母子で過ごす貴重な時間が少なくなるという側面もある。また、保育所を利用しない子育て世帯への支援も望まれる。

#### ⑥高齢者福祉を充実する

- ・介護を受ける側の記載だけでなく、「高齢者にやさしくしましょう」や「ひとりぼっちの老人をつくりません」等、周囲で支援する側の役割も追加してはどうか。

#### ⑦市民の健康を守る

- ・健康づくりについて、日常生活にも踏み込んだ詳細な記載があるが、「栄養のバランスを考えた食事を取りましょう」など、容易に実践できるものとするほうが良いのではないか。

### 【Cグループで出された意見の概要】

#### <都市基盤、環境>

##### ①魅力的な住環境をつくる

- ・今後の駅周辺整備について、寺田駅周辺に住んでいる人の思いを尊重することに加え、整備方針を積極的に市民へ情報提供し、共有することが必要である。

##### ②上下水道の適切な管理運営を図る

- ・公営企業として利益を出す（水をたくさん使う）ことと、市民が資源を保護する（節水する）ことでは相反する部分があり、何らかのバランスが必要である。

##### ⑦環境を守り育てる

- ・各団体の具体的な取り組みについては、実際に何をしているのか知られていない部分が少なくないため、十分に広報を行って、市民の認知度の向上と参加者の拡大を図る必要がある。

##### ⑧ごみの減量と資源のリサイクルを推進する

- ・ゴミの分別などの取り組みについて、市民が納得できるように、どれだけの効果があるか分かりやすく情報発信する必要がある。

#### <市民活動分野>

##### ①市民参加と協働を推進する

- ・自治会活動の活性化には、若い人や自らの意思で関わりを持とうという人を増やすことが重要であり、賛同者を募るには、相手の思いを引き出すような能力が必要である。

##### ③人権を尊重し、女性の活躍を推進する

- ・人権や男女共同参画については、無知や無関心が課題解決の妨げになる場合がある。まずはどのような問題が生じているかを知ることが重要である。



- 各グループからの発表後、小島先生に講評いただきました。

今回の議論は、行政や市民、各団体の代表等、異なる目線での意見交換となり、議論の焦点を合わせるのが難しかったのではないかと思います。その中で、最後まで議論をされていたということは、みなさんが城陽について深く知るとともに強い思いを持っているということなのではないかと感じました。今回議論頂いた資料は、行政が実現性等にも配慮して作成した、隙が無い文章となっています。次回の議論では、行政だけでは難しさを感じている点等、行政側の考えを率直に表明すると、市民・地域としてどんなことができるのか、建設的な議論ができるのではないかと思います。

～第7回は平成28年7月8日に開催予定です～

次回ワークショップでは、引き続き施策の内容や、市民の役割について議論をおこないます。

#### 【お問合せ先】

城陽市役所 企画管理部 企画調整課

TEL:0774-56-4041 FAX:0774-56-3999 E-mail:kikaku@city.joyo.lg.jp

